

北海道今金高等養護学校 R6 第3回学校運営協議会（コミュニティー・スクール）記録

開催日時	令和7年2月10日（月） 10時10分 ～ 11時40分		
会 場	北海道今金高等養護学校 会議室		
出席者数	13名		6名（事務局）
出席者名	A 北海道教育大学函館校 教授 B 今金町教育委員会 事務局長 C 今金町農業協同組合長、後援会会長 D 今金町役場 総務財政課長 E 社会福祉法人光の里 施設長 F 今金町校長会 会長 G 一般財団法人i・スマイル理事長 やまとや金物店店長 H 相談支援事業所相談室ひかり相談員 I 今金町保健福祉課 保健師 J 今金町商工会女性部 部長 K 今金町農業協同組合 青年部顧問 L 寒昇町内会 会長 飯出広行 北海道今金高等養護学校校長	教 頭 伊 東 実 事務長 市 川 聡 総務部 内 田 義 文 教務研修部 山 本 拓 郎 進路指導部 大 倉 正 也 支援部長 須 藤 育 美	
内 容		記 録	
1 開会の言葉	教 頭	今年度最後の学校運営協議会。有意義な会議となるよう、皆さんの忌憚のない意見活発な協議を期待する。	
2 会長挨拶	A 会長		
3 日程説明			
4 今年度の学習活動の振り返り	内田教諭	今年度の各学習活動や行事の様様をスライドを視聴しながら説明した。	
5 令和6年度学校評価	教 頭		
6 令和7年度学校経営方針重点目標	校 長	令和7年度の現時点での学校経営方針について資料を参照しながら校長より説明した。令和7年度の経営の重点としては、「共学、共創、共生」を実現する地域学校協働活動（CS）の推進と、働き方改革の一層の充実が掲げられた。	
7 協議・意見交換	A 会長		
	校 長	2点要望がある。1つは、檜山管内の特別支援教育におけるセンター的役割の充実をお願いしたい。各学校の特別支援教育の一層の推進は、管内唯一の特別支援学校の今金高等養護学校の存在が大きい。2点目は、働き方改革である。働き方改革はどこに向かっているかゴールが見えない。業務を減らさなければならない中、やるべきことが山積している。保護者や地域の協力、教職員の働きがい、子どもたちの成長・発達をクリアーしていくためには、学校全体が一つになって同じ方向を向いて進んでいくことが必要。そのためにも、職場の同僚性を高めてほしい。 1つめ、檜山管内唯一の特別支援学校として、特別支援教育を推進して責任がある。本校の専門性を高めていく必要がある。今後、人材育成や研修の在り方に重点を置いて進めていく。2つめ、働き方改革は管理職の意識改革を進めて、学校業務の大胆な削減、教職員の働きがい重視、保護者や地域との共働作業を進めていくことや、職場内の同僚性を高めて、働きやすい職場としていきたいと考える。	

校 長 須 藤	C	学校評価の結果を見れば、地域と学校との関わりについては充分にうまくいっていると感じる。後援会を通じて先生方の苦勞を我々にも理解できる。働き方改革では寄宿舎もあるため、勤務時間内で終わることは、やはり相当苦勞されてると感じる。そのような中ではあるが、教育の精度を上げて社会に一人でも多く貢献できる生徒たちの育成にこれからも尽力して欲しい。
	B	学校評価の生徒の悩み相談で、教師は相談に乗ってくれるか？について少し評価が低かったように思う。学校なのか寄宿舎での生活なのか分からないが、スクールカウンセラーや、様々な制度もあるので、そここのところ教えて頂きたい。
		生徒の悩み相談ができることは、教職員として大事なところである。感受性と共感力のある人間に教員としてなっているのか、先ずそこが大事。カウンセリングマインドで子供たちに接する姿勢が有るのかどうか。学校では支援部が中心に「つぶやきウィーク」を実施している。
		質問の件で、本校はつぶやきウィークという事で生徒の悩みを聞くといった形で面談週間を行っている。一学期については生徒全員と支援部員、コーディネーター中心になって養護教員も加わり面談。二・三学期については困り感がないかアンケートを実施し、面談を希望する生徒に対して面談を実施してる。実施のあり方について、職員にもアンケートを取り次年度以降、悩みポストのようなものを設置して子供たちの発信にタイムリーに働きかけていくといったところを考えている。
	F	今年度の学校評価をとおして、生徒の喜び、成長、将来への展望が理解できた。今養の子供たちを見ていると町内に溶け込んでいるというところが良いと思う。各地から来た子が今金で生活していくうちに町内の方と触れ合うというところが素晴らしいと感じる。後は特別支援教育のセンター的役割として、小・中学校の課題や悩みをすぐ今養さんにアドバイスを頂けるといったことが小・中学校にとってはすごくありがたい。
	D	学校評価結果を見ていて、アンケートの真意がどうなのか？生徒にはハイカイエしかない。ハイの解答の中にはイエの部分もあるかもしれない。普通の評価を一つでも高い評価になれば良いなという思い。
	E	評価を見ていて先生方の評価が非常にプラスの評価が多い。生徒さんを指導していく中で先生方の方向性が、同じ方向を向いていないと中々教育・指導が難しい。今養さんの特徴としては子供さんたちと職員のみなさんも地域に溶け込んでいるというのを感じる。今後も続けていただきたい。
	I	日頃から様々な町の活動に参加していることに感謝している。変化の激しい時代となり、変化のスピードについていくことが大変な中、若い世代が頑張っていると感じる。ICTの推進や働き方改革に頑張ってもらいたい。できるところは協力していきたい。
	J	養護学校生徒が地域の数少ない若者として（行事など）を担っている。今金高等養護学校に来てもらって（誘致して）良かったと感じる。
	K	第2回学校運営協議会のグループワークを実施した際に、進路指導部の先生より生徒さんの農業への就職ができないか質問され、我々青年部でも生徒さんたちの実習先として考えていきたいと思う。実習先としてピックアップされるようにして参りたい。
校 長		Kさんに直接お礼を言いたい。運営協議会に参加して頂き、青年部の方に学校に来て頂いて、具体的にこういう企画が生まれている。本当にあ

8. 校長挨拶

9 閉会の言葉

大 倉

L

H

校 長

りがたく思う。

- ・ 進路としても、せっかく今金町へ来て学習しているので、今金で生徒たちが一人でも多く就労していけるとありがたいのと、又町との連携を深めながら、生徒の進路実現できるようやっていけたらと思っている。
- ・ 働き方改革について、昔は24時間働けますかの時代で残業当たり前の時代。昔はペーパーと電卓の時代で、皆でコピーして仕分けしてやっていた。今は事務仕事は一人一台パソコンが入っている。それぞれ個々でやっている。協働でやる機会がなくなっている。町内会長として春の行事から秋のマラソン大会まで地域との連携でお世話になっている。生徒会活動などで協力して大変お世話になっている。釉薬としてマンガンを使っていることは、地域資源の有効活用に大きな成果であるもので、地域との連携を続けて欲しい。
- ・ 進路の先生方とよく連携している。学校の印象としては、先生たちはよくやっている、生徒が明るくのびのびしている、と感じている。一人今金に就職する生徒がいるが、今金で生活するのを楽しみにしている。生徒の明るい様子が財産であると感じている。その生徒の担任もグループホームの見学に来ていたが、進路や3学年担任以外の先生にも今金町の社会資源としての施設を見学に来てもらいたい。以前に比べて、卒業後今金へ残る生徒が少なくなっているようだ。（福祉就労・一般就労共に）卒業後に利用できる施設が町内にあることを生徒に伝えて欲しい。大いに相談室を利用して欲しい。
- ・ 本校は、今金町に深く溶け込み、密接な関係にあると感じる。今後も互いに協働して時代の変化に応じた取組を生み出していきたい。本日はありがとうございました。

